

専門医受験者CISJ審査会（専門医試験・口頭試問の予演会） に参加して

日時：平成27年8月2日（日）
場所：TKPガーデンシティ品川



須田 善行（北海道）

平成27年8月2日（日）TKPガーデンシティ品川にて専門医受験者CISJ審査会（専門医試験・口頭試問の予演会）が行われました。

平成28年1月に行われる日本口腔インプラント学会専門医試験に向けて、受験を予定している先生方と一緒に提出する書類と症例の診査をして頂きました。

午前中は、CISJの専門医委員会の小倉先生、佐久間先生による書類の審査があり、各先生方が用意した専門医申請書類を2度に渡りチェックをして頂きました。

各自で作成する書類は、学会のホームページからダウンロードできる申請の手引きだけでは誤解を生じ易い箇所もあり、専門医委員会の先生方からの確な変更箇所の指摘や訂正を受け、申請書類を学会

に受理して貰う為の大切な前段階の確認作業となりました。

学会発表の抄録の形式、ケースプレゼンテーション試験合格書、論文の別刷りなど様々ありますが、一番重要なのが提出する20症例の一覧表で、欠損歯数と補綴歯数の確認、欠損歯数別の順序などは細かい確認が必要となりました。

書類の不備で受験資格を得られないこともあり、専門委員会の先生方のきめ細かなご指導とご助言で、正しい提出書類作成が可能となりました。

午後からは、会長の田中先生、井汲先生、中野先生と3人の先生が診査員として、専門医提出する症例の適正を診査して頂きました。

専門医試験の症例提示には補綴物装着後3年経



過した20症例が必要で、さらに7歯以上の多数歯欠損1症例については口頭試問があるため、その対策も本番さながらに行って頂きました。私も個々の症例に対して「何故この症例を選んだのか」「何故この治療方法を選択したのか」との質問を受け、その答え方や内容に不備があった場合は、本番の試験さながらにご指摘を受けました。

診査員の先生方は、あえて厳しい目で受験予定の先生方を診査し、時には厳しくご指導、ご助言をされておりました。これも偏にCISJの受験者が全員合格をするようにと、後進への親心のようなものと感謝の気持ちで会場を後にしたのを覚えております。

個々の症例には、術者の思い入れもあります。私の様にCISJで過ごした10年間で集めた症例での選

択には、自分の中で負のバイアスが入り、あまり適切ではない症例選択もありました。専門医試験を突破するには、どのような症例を選択し、試験を受けるのが良いのか、まさにCISJの審査会でのご指導・ご助言が必要となってきます。（貴重な先生方の貴重なお時間を私の稚拙な症例で長時間使ってしまいましたことを、この記事にてお詫び申し上げます。）

現在、CISJでは90人の専門医の先生方がおられます。平成28年度の専門医試験で受験者全員合格となれば、当会の専門医は100名を越えられるという節目の試験となります。

受験する先生方と横の繋がりを持ち、諸先輩の先生方のアドバイスを受けながら、全員合格を目指し試験までの残りの時間を有効に使いたいと存じます。

